

2022 年度

NACS 中部支部 活動報告書

I. 2021 年度活動報告	… 1～18
1. 活動概要	
2. 各委員会より	
3. 各分科会より	
4. 各研究会より	
II. 2021 年度予算執行状況	… 19
III. 2022 年度運営方針、予算	… 20
IV. 賛助会員・支部会員数	… 21
V. 2022 年度運営体制	… 21

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 中部支部

2022 年 6 月

I. 2021 年度活動報告

はじめに

2021 年度は引き続きコロナ禍で、オンライン会議など ICT 活用が広がり“コロナとの共存”を図りながら会員活動を進めてきた 1 年でした。

1. 活動概要

中部支部の活動について、「消費者啓発と人材育成」「企業・行政との連携」「支部運営と会員の相互研鑽や交流」「会員への情報提供と広報活動」の 4 つに分け、以下報告いたします。

1-1. 消費者啓発と人材育成

消費生活全般についての講座、セミナー等を開催して行う啓発活動及び人材の育成を行う事業

(1) 学校講師派遣事業

1 件の派遣依頼を受けましたが、講師手配できず

- ・ 7 月開催、愛知学院大学商学部「金融教育」→東海財務局に派遣依頼

(2) 一般講師派遣事業

支部管内の自治体から 6 つ講師派遣依頼を受け、内 3 つの講座に会員講師を派遣しました。

- ・ 7 月 6 日、知多市「高たんぱく質食品の上手な摂取について」 参加者 19 名
- ・ 12 月 5 日、日進市「親子で学ぶお金の使い方(お小遣い・お年玉等)」
参加者各 21 名(大人 10 名、小学校低学年 11 名)
- ・ 12 月 10 日、知多市「お金の新知識～キャッシュレス決済とは」参加者 37 名
(派遣できなかった案件)
 - ・ 9 月開催、尾張一宮市「エンカル消費、消費者市民社会」→主催者都合で中止
 - ・ 9 月開催、石川県「今を生きる! デジタル・ネット社会の対処法(仮)」→他支部から派遣
 - ・ 11 月開催、福井県「生活設計・生活管理(見えないお金について考える)」→他支部から派遣

(3) 消費者啓発事業

①消費者関連規格標準化セミナー

経済産業省・一般財団法人日本規格協会との共同事業として大学生を対象とした標準化セミナーを開催しました。詳しくは事業委員会報告参照

②消費生活アドバイザー 2 次試験相談会

本年度は東日本や西日本支部の対策講座と共に本部ホームページに開催案内を掲載し参加を募った結果、北海道から沖縄までの約 50 名の参加を頂きました。詳しくは総務委員会報告参照

1-2. 企業・行政との連携

(1) Amazon 事業 e-BOOK「18 歳からのスマート通販学」制作

アマゾンジャパン合同会社の支援を受け、デザイン会社 cocoroé の全面的な協力を頂き、成年年齢引き下げに対応した消費者教育教材を制作しました。

工夫したところは、成年年齢引き下げで消費者被害の対象となる若者に抵抗感なく受け入れてもらえる教材を目指し、ネットに精通した Z 世代の特性をとらえ e-BOOK としてまとめました。

内容では、動物イラストを配したデザインを主に文章は極力短くし、一目で理解しやすいよう工夫するとともに、教育現場での利用を考えイラスト等の素材のダウンロードなど使い勝手にも配慮しました。

(2) Google 事業「高齢者の ICT リテラシー向上のための啓発」

4 年目となった ICT 啓発事業では、コロナ禍でオンラインによる啓発活動を中心にワークショップ、垂直展開を実施しました。また、動画教材の作成では、すみれさんシリーズから 1 本、消費生活関連動画 1 本を実施しました。詳しくは総務委員会報告参照

(3) 消費生活に関する行政イベントへの参画事業

- ・ 岐阜市主催「岐阜市消費生活展」 11 月 3 日(水)、岐阜市正木のマーサ 21
- ・ 名古屋市主催の消費生活フェア出展 11 月 13 日(土)、イオンモールナゴヤドーム前
地球環境の変化(温暖化・CO₂濃度の上昇)をテーマに展示

(4) 行政関係委員

名古屋市消費生活審議会委員など地域自治体の消費者行政へ参画しています。

1-3. 支部運営と会員の相互研鑽や交流

(1) 支部大会

コロナ感染対策のため会場開催からオンライン形式に変更して開催し、支部大会 44 名、講演会 88 名の参加申込みがありました。

講演会では、NACS 監事でサステナビリティ消費者会議代表の古谷由紀子さんから、「SDGs と消費行動 ～誰一人取り残さない社会の実現に向けて、消費者・消費者団体に求められること」をテーマに 1 時間半の講演を頂きました。

(2) 運営委員会・全体会議の開催

支部活動の円滑な運営のため月 1 回開催を基本として、運営委員会を実施しました。また、分科会との情報交換のため分科会との意見交換会および、年度末の全体会議を実施しました。

詳しくは総務委員会報告参照

(3) 分科会活動

愛知県を除き 6 県 4 分科会があり地域ごとに活動を進めています。詳しくは各分科会報告参照
静岡分科会(40 名)、岐阜分科会(20 名)、三重分科会(26 名)、北陸分科会(福井・石川・富山県 23 名) 会員数は 2022 年 3 月時点

(4) 消費生活に関する研修会・自主研究会の開催

会員の学ぶ意欲に応えるため研修会を開催すると共に、自主研究の場としての研究会へ活動資金を援助しています。

研修会は全てオンラインで開催しました。詳しくは研修委員会報告参照

自主研究会は、名古屋市を拠点に 3 つの研究会が活動しています。詳しくは各研究会報告参照
・研究会 ACT(1995 年～)、食生活研究会(1999 年～)、AD・CS 研究会(2003 年～)

(5) 合格祝賀会&仲間づくりの会

消費生活アドバイザー新資格者への NACS 活動紹介と NACS 会員との交流会を開催しました。

- ・ 2022 年 3 月 12 日(土)オンライン開催、参加 8 名
- ・ 河上会長ビデオメッセージ、支部活動紹介、ミニ講演会「資格の活かし方」井上洋一氏

(6) 新入会会員との懇談会「おいでませ♪NACS 中部支部への会」

2021 年度新入会者(9 名)との懇談の機会を設ける開催しました。

- ・ 2021 年 5 月 23 日(土)オンライン開催、参加 7 名
- ・ NACS 概要、運営委員自己紹介、新入会員自己紹介、意見交流会(フリートーク)

1-4. 会員への情報提供と広報活動

メーリングリストおよび会員情報誌「セントラルC+」により会員への活動情報を提供しています。また、支部ホームページを活用し一般の方への活動紹介を実施しています。

(1) メーリングリストによるタイムリーな情報提供

- ・ 支部での研修会や他団体主催のオンラインセミナーなどを多くをメール配信しました。
- また、メーリングリスト登録も 9 割を達成しました。

(2) 会員情報誌「セントラルC+」の発行 詳しくは会員活動委員会報告参照

- ・ メーリングリスト登録が進み、冬号(1 月発行)を最後に郵送は終了することにいたしました。

(3) 支部ホームページの管理 詳しくは広報委員会報告参照

- ・ 行事スケジュールの公開、新着情報の更新および会員ページへの情報掲載を実施しています。

2. 各委員会より

会員活動委員会

会員活動委員会は、主に、会員情報誌セントラルC+の作成を担当しています。

セントラルC+は、2019年10月発行の秋号から電子化を進め、2022年春号より電子版のみとなりました。完全電子化に至るまでには、メーリングリスト(以下ML)に未登録だった会員の方々に、紙媒体のC+を郵送する際にML登録のお願いの文章を同封したり、運営委員や分科会のみなさん・職場等からも登録の呼びかけを行っていただいたりしました。その結果、2022年3月末には、約9割の会員にML登録していただきました。また、都合によりML登録をしない会員もHP閲覧で情報が得られるよう配慮しています。

電子版は、紙媒体と異なり、写真やイラストがカラーで見られ、活動内容がより臨場感あふれるものとなっています。また、関連する情報にアクセス出来るリンクを張ったり、QRコードを使ってバックナンバーやHP、関連情報にアクセスできるようにしたりと、電子版ならではの使い勝手にしました。

現在は、分科会活動や研修会等の支部活動の報告をHPに速報として掲載していますが、今後は、中部支部の活動報告や行事参加者募集などの情報をどのようにHPとC+でお知らせしていくか、よりよい方法を模索していきます。また、中部支部会員の消費生活アドバイザーとしての活動や思いを掲載するなど、書いてうれしい・読んで楽しい会員情報誌にしていきます。

- ・ セントラルC+ 発行月
4月、7月、10月、1月と年4回発行しています。
- ・ 2022年度のページ構成は以下の予定です。
表紙・・・目次・会員情報・研修会・見学会のお知らせ・HPの案内等
P2～・・・支部行事結果報告・分科会、研究会活動報告等
- ・ 中部支部会員の活動をお伝えする重要な手段として、今後も情報を発信していきます。

公益社団法人 NACS
2021年10月発行 Vol.3 通算№195
発行：公益社団法人 NACS 中部支部 会員活動委員会
名古屋市中区栄4-4-19 栄通商ビル19階
学校法人 産能大学 中部事業センター内

NACS 中部支部 NEWS
<http://chuubu.nacs.or.jp/>

セントラルC+ (電子版)は
右のQRコードから →
バックナンバーも見られます♪

★令和3年度名古屋消費生活フェアのお知らせ★
【タイトル】～なごやエシカルフェア★2021～
【開催日時】11月13日(土)午前10時～午後7時
【開催場所】イオンモール ナゴヤドーム前 1階
ウエストコート、サウスコート、セントラルコート
の3会場で、ブース展開、各種展示、動画放映開催
【テーマ】～エシカル消費「誰でも」気軽に～
「いば」はじめよう！～
*人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」をはじめとした消費生活に関する様々な知識を、展示や動画、体験ブースなどを連ねて楽しく学べるイベントです。
NACS中部支部は、ブース出展いたします！
【NACS ブースのテーマ】
～私たちのエシカル行動で気候変動を止めよう！～
*すでに気候変動が始まっています。原因と言われる地球温暖化を止めるため、エシカルの視点から行動を見直しましょう！
【タイトル】～食ロス削減のために今できること～
の動画もセントラルコート大型ディスプレイで放映予定
*【令和3年度名古屋消費生活フェア】
のウェブサイトで開催案内をご覧ください。

目次
P2 *** *第1回研修会 オンライン上級会 実施報告 会員活動委員会・研修委員会
P3 *** *第2回研修会 そんぽ勉強会 実施報告 伊藤 昌伸
P4 *** *講演会「怪しげなメールに惑わされないために」 実施報告～静岡分科会 青島 吉男
P5 *** *「Zoom 会議やっています」～岐阜分科会 山田 圭子
P6 *** *「Zoom で講演会」実施報告～北陸分科会 橋 宏和
P7 *** *こんな活動もあります 株式会社ジャパノガスエナジー様のトークコンテスト で審査員をしました 長瀬 公子

NACS HP もご覧ください
会員ページ
ユーザー名 nacs-chubu
パスワード chuubu-7ken

QRコードでGO!

会員情報 会員数 280名(9月末現在)
1名減(退会3名、他支部から異動2名)

季節に合わせたイラストや、会員が撮影した、とっておきの一枚を掲載

2021年秋号の表紙です

QRコードでHPやバックナンバーにアクセスできます。

2ページ以降は、見学会・研修会への参加報告や分科会・研究会の活動報告など、消費生活に関わる情報満載！

最近の分科会・研究会の活動およびその報告は超力作。中部支部会員の活躍ぶりや知恵・研鑽・ほっこりする話の数々が盛り込まれています。

後で読み返せば、過去に開催された研修会の復習にもなります。

広報委員会

広報委員会では、中部支部ホームページの管理、編集、メーリングリストの管理・運用等を担当しております。2021年度は、より使いやすいZoom会議の予約方法の拡充や、オンラインとリアル会議の併催（Zoomハイブリッド会議）などのマニュアル整備を進めてまいりました。また、ホームページやメーリングリストで中部支部主催の行事案内や報告の掲載も実施してまいりました。メーリングリストには、現在91%の方にご登録いただき、メール配信数も年間約150件と増加し、リアルタイムの情報共有もできるようになってきました。

ご意見やご要望等がございましたら、ぜひ、広報委員会までメールにてお寄せください。よろしくお願いたします。

広報委員会への連絡先 kouhou@chuubu.nacs.or.jp

(1) メーリングリスト

募集中の事業・研修情報や、消費者問題の「今」を伝える最新の情報を届けています。また、より皆様に使いやすいメーリングリストとなるよう、分科会単位でのメーリングリストも作成しております。新規登録・アドレス変更は随時受け付けておりますので、中部支部会員ページのメーリングリスト」よりお申し込みください。

- ・現在登録者数 250名（総会員数275名）
（愛知146名、静岡36名、三重25名、北陸21名、岐阜20名、他2名）
（2022年3月時点で、全会員数の91%の方に、ご登録頂いております。）
- ・配信状況 約150件/年

(2) ホームページ

トップページは、カレンダーで一か月の活動を一目で確認できます。事業・研修の申し込みは、申し込みフォームから簡単に行っていただけますので、ぜひご活用ください。

主な更新内容 2021年4月～2022年3月

コーナー	時期	更新件数	内容
新着情報	随時	91件	情報掲載
これまでに開催した事業	随時	43件	情報掲載
会員向け新着情報	随時	74件	情報掲載
活動カレンダー	都度	66件	内容書き込み
運営委員会議事録	毎月	12回	PDFファイルの登録
会員情報誌セントラルC+	四半期	3回	PDFファイルの登録
全体会議議事録	2・3月	2回	2・3月 PDFファイルの登録
支部大会告知	4月		トップページ画像制作 PDFファイルの登録ほか
トップページ画像	不定期		適宜差替え

中部支部会員、会員外への広報として、ホームページは重要なツールです。

2022年度は、ホームページの活用方法について、本部で新たに導入した新会員管理システムの活用・連携や、支部会員同士のコミュニケーションが取れるような仕組みの検討、分科会や研究会の活動成果について、会員内、会員外の行政や企業を含めた一般の方へアピールできたり、成果物を活用しやすくなるような仕組みを、運営委員の皆さんの意見なども聞きながら検討してまいります。

研修委員会

2021年度においても前年度と同様に、感染症対策として、すべての研修会をオンライン形式で開催いたしました。開催回数は年間5回に増やし、うち3回は他支部からも参加者を募りました。画一的になりがちなオンライン研修に多様性を持たせるため、上映会の開催や、講座内でグループセッションを設けるなどの企画を考えました。また、地域にとらわれず、専門性の高い有識者に講師を務めていただけたことは、オンライン開催ならではの利点と認識しています。

(1) 第1回研修会 (参加者数：27名)

オンライン上映会「THE GREEN LIE グリーン・ライ エコの嘘」

2021年8月22日(日)14:00~16:00、グローバル企業のグリーンウォッシングの実態に迫るドキュメンタリー映画「THE GREEN LIE グリーン・ライ エコの嘘」をオンラインにて上映し、視聴後に3~4名のグループに分かれて15分間の意見交換会を実施しました。会員同士の対面での交流が制限されるなか、多くの参加者から「他の会員の意見を聞くことができたのは有意義だったが、意見交換会の時間はもう少し長いとよかった」という感想が寄せられました。

(2) 第2回研修会 (参加者数：31名)

そんぽ勉強会「住まいのリスクと保険ー自然災害と保険金トラブルー」

2021年9月25日(土)14:00~15:30、講師に、一般社団法人日本損害保険協会より高橋勝巳氏をお招きし、火災保険に関するお話をうかがいました。参加者からは「保険金支払要件について誤認していた部分もあり、知識を深めることができた」「既存の知識をアップデートするために同様の研修を定期的開催してほしい」などの感想が寄せられました。

(3) 第3回研修会 (参加者数：30名)

「エシカル消費の実態と課題」

2021年10月17日(日)14:00~16:00、講師に、公益財団法人消費者教育支援センター専務理事・首席主任研究員の柿野成美氏をお招きし、海外の情勢も含めた幅広い視点から、エシカル消費についてお話をうかがいました。講座内で4~5名のグループに分かれてディスカッションを実施し、各グループの発表に対して講師から講評をいただきました。他支部からも参加を募り、グループディスカッションでは、支部の枠を超えて会員同士が積極的に意見交換をすることができました。

(4) 第4回研修会 (参加者数：49名)

「科学的に見るSDGs時代のごみ問題ーごみ処理とリサイクルの科学的合理性ー」

2022年1月29日(土)14:00~16:00、講師に、北海道大学名誉教授の松藤敏彦氏をお招きし、廃棄物工学にもとづく科学的合理性の見地より、ごみ処理について包括的なお話をうかがいました。全国の支部から会員の参加があり、多数の質問が寄せられました。講師には、すべての質問に対して丁寧に解説していただき、充実した資料も参加者に好評でした。

(5) 第5回研修会 (参加者数：80名)

「パーソナルデータに関する啓発講座(基礎編)」

2022年2月12日(土)14:00~16:00、講師に、弁護士で一般社団法人日本IT団体連盟情報銀行推進委員会認定委員会委員長の森亮二氏をお招きしてお話をうかがいました。公開講座として参加者を募ったところ、他支部会員ならびに会員以外の一般の方からも多数の参加申し込みがあり、当該テーマに対する関心の高まりをうかがい知ることができました。参加者からは「講義は専門用語が多くて難解だったが、Cookieの仕組みがようやく理解できた」「個人情報保護法と電気通信事業法との関連性がよく理解できた」「ぜひ資料を読み込んで復習したい」「当該テーマに関する啓発講座を引き続き開催してほしい」などの感想が寄せられました。

2022年度は、オンライン形式と対面形式、両形式での開催を予定しています。それぞれの特性をいかし、ご参加の皆さまに有意義な時間を共有していただける研修会を実施したいと考えています。積極的にご参加ください。研修会の充実に向けて、忌憚のないご意見、ご要望を研修委員会までお寄せくださいますようお願い申し上げます。研修委員会の連絡先：kenshuu@chuubu.nacs.or.jp

(本部事業) 学校教育

2021 年度実績

NACS では本部事業として「学校への講師派遣事業」を行っています。中部支部では 8 枠の講座の実施を目標としていましたが、残念ながら 2021 年度は実施することができませんでした。

2022 年度実施計画

本部から割り当てられる講座実施目標数は未定です。2021 年度に引き続き、2022 年度においてもコロナの影響は続くことが予想されます。オンラインへの対応が必要になってくるとわれ、オンライン教材の利用の促進に努めます。

成人年齢が 18 歳に引き下げられ、学校教育の重要性はさらに高まることが予想されます。講師を希望される方には、広く手をあげていただき、講師を担っていただきたいと思います。講座の見学等も可能な限り実施できればと考えます。

事業委員会

2021年度は、中部大学にて3回目となる「NACS標準化セミナーin中部大学」を開催しました。また毎年出展している「名古屋市消費生活フェア」に、本年は「対面型パネル展示」でのブース出展と「動画放映」の両方に出席しました。それぞれの事業の実施概要を報告いたします。

(1) 「NACS標準化セミナーin中部大学」開催 (7月1日開催)

「もっと安全で便利な暮らしについて考えよう」のテーマで、「NACS標準化セミナーin中部大学」を開催しました。今回のセミナーは、令和3年度経済産業省委託事業として、中部大学・名古屋市・NACS中部支部のコラボ企画として開催しました。コロナ禍が続く中、大学の講義方法に合わせて、すべてオンラインでのセミナーとなりました。

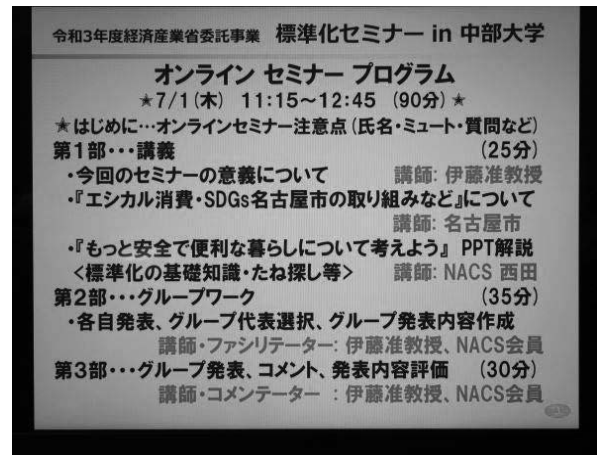
セミナーのねらいは、「標準化について学んできた幅広い知識を活用し、グループワークで更に理解を深め、標準化の重要性・必要性を学ぶ」とことと「消費者視点による標準化のたね探し、標準化することによる課題解決方法と期待される効果を検討する」とことの2点でした。セミナー対象者は、中部大学経営情報学部で「環境マネジメント」カリキュラム(標準化について学ぶ全15回のカリキュラム)を受講する3年生中心の40名でした。

セミナーは、7月1日(木) 11時15分から12時45分の90分で開催しました。

プログラムは、第1部…講義、第2部…グループワーク、第3部…グループ代表発表・コメントの3部構成でした。学生さんたちは熱心に講義を聴き、またグループワークには、NACS中部支部から6名がオンラインで参加し、ファシリテーターとして各グループの討議に加わりました。グループワークでは「標準化のたね」について積極的な討議がなされました。

グループ代表発表の内容は、コロナ禍での対応策や新しい生活様式、ビジネスへの対応などの新しい視点に合致した内容でした。例えば「高齢者向けキーボードの開発」「スポーツ施設の感染症対策」「EV車のスタンド改善」「車いすのスロープ改善」など、すぐに導入すべきだと考えられる内容ばかりでした。

受講後のアンケート結果では、回答者全員が「参加してよかった」「標準化について理解が深まった」と答え、セミナーの満足度は高かったと思われました。参加したNACS会員も、学生さんたちとの討議もあり、大変有意義なセミナーとなりました。(上の画像はオンライン講義のPC画像です)



(2) 「名古屋市消費生活フェア☆2021」への出展 (11月13日開催)

「エシカル消費～“誰でも” “気軽に” “いま”、はじめよう!～」をテーマとして「令和3年度名古屋市消費生活フェア」～なごやエシカルフェア☆2021～が名古屋市の主催で開催されました。

人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」をはじめとした消費生活に関する様々な知識を、展示や動画、体験ブースなどを通して学んでもらうイベントです。2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した形式での「対面も含めた展示ブース」「体験型ブース」「動画放映」に分けての開催となりました。中部支部は、対面型展示ブースと動画放映に出展しました。

出展準備と開催当日の運営は、AD・CS研究会のメンバーが実施しました。オンラインミーティングを通して、役割分担による出展コンテンツ作成などの準備作業を行いました。NACSは、「私たちのエシカル行動で気候崩壊を止めよう」のタイトルでブース出展しました。また「食品ロス削減のために今できること」のタイトルで、動画放映も別会場で実施しました。

フェアは、11月13日(土)午前10時～午後7時に「イオンモールナゴヤドーム前1階」で開催され、58団体が参加しました。当日の来場者数は、2500人となりました。(右の画像は出展ブースの画像です)



総務委員会

総務委員会は、恒常的に支部活動の円滑な運営を支援する活動を展開しています。
2021 年度もコロナ禍により、ほとんどの活動を Web 会議メインにて行うこととなりました。

(1) 運営委員会等定例業務について

運営委員会は、Zoom による Web 会議をメインに、毎月休みなく 12 回開催し、運営委員間のより一層の意思疎通を図りました。そのなかで、コロナ感染状況が落ち着いていた 10 月度、12 月度には、会議室での対面の会議と Web 会議を併用したハイブリッド会議も試行いたしました。運営委員会の議論については中部支部 HP 会員ページに議事録を掲載しておりますので是非ご覧ください。

(2) 全体会議

例年、分科会の代表と運営委員、代議員が参加し、年度の支部及び分科会の活動総括、今後の支部運営について活発な意見交換を行い、新年度の活動方向性を確認しています。

2021 年度は、3 月 12 日 (土) 11:00~12:30 Web 会議として開催し、若い世代の支部活動への参画推進、支部内の交流の活発化、会員の ICT リテラシーの向上などの課題が提起され、支部として対応を検討してゆくことになりました。

(3) 消費生活アドバイザー受験者支援、入会促進活動

・2 次試験相談会の開催

10 月 23 日 (土) にオンラインで開催しました。今年から 1 次試験が CBT 方式に変更になり、複数会場で複数回の開催となった為、会場でのチラシ配布は実施せず、開催案内は本部、支部 HP 上での案内のみとしましたが、案内は全国展開となったため、当日は北海道から沖縄まで約 50 名が参加しました。プログラムは、①小論文のワンポイント解説、②出題傾向分析と注目すべきトピック解説。③面接でのワンポイント解説と模擬面接例という昨年度とほぼ同じ内容としました。アンケート結果もほとんどの方が、開催時期/講義時間、プログラムの理解度について肯定的な回答で、試験勉強の進め方に大変参考になったとの感想をいただきました。来年度も継続し開催を計画する予定です。

・合格者交流会&仲間づくりの会の開催

3 月 12 日 (土) に中部支部主催の合格者交流会&仲間づくりの会をオンライン開催しました。当日は 8 名の参加申込者と会員 12 名の計 20 名で、①NACS 会長メッセージ、②中部支部の活動紹介、③会員の井上洋一氏によるミニ講演会「消費生活アドバイザー資格の価値と活かし方」④先輩会員との懇談、というプログラムで会を進め、参加した新資格者の皆さんとは、活発な意見交換ができました。終了後のアンケート結果では、NACS への理解については全員の方から理解できた、興味のある分野は、消費者トラブル、エシカル消費などの回答をいただきました。今後は、これらの分野に関する活動を企画・開催することで、さらに NACS の会員になる利点をアピールし、一人でも多くの方に会員となっていただければと思います。

(4) シニアの ICT リテラシー向上啓発活動

コロナ禍による対面活動制約のもとで NACS 本部、各支部と連携し下記活動を展開しました。

- ・すみれさんシリーズ「アプリインストール編」の動画化：3 名の会員の合作で 2 月中旬完成。
- ・消費生活関連啓発動画作成：静岡分科会にて防災に関する動画「備えて安心 “もしも” のときのヒント集」作成。
◆これらの動画は、YouTube の NACS チャンネル (右記 QR コード) で公開されていますのでぜひ一度ご覧ください。



・ICT 啓発活動「垂直」展開の推進

垂直展開活性化に向けて、これまで 3 回の支部 ICT リーダー育成 WS 参加者への説明会を 2 月 12 日に実施し 12 名の方が出席しました。活動の進捗を情報共有し、垂直展開の推進について意見交換を行いました。スマホ、PC を持たない ICT 初心者以前の方々への活動展開が必要、そのためには ICT リーダーのスキルアップを図る講座が必要との意見がありました。

また、垂直展開として静岡分科会が 11 月 27 日浜松市北区にて地域団体きたっこの要請で「災害時にも繋がるために、スマホに慣れよう」を開催しました。

3. 各分科会より

静岡分科会 2021-2022

代表 河合 康成

2021 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 河合康成、副代表 山岡美須永、会計 山下裕夫
地区役員：東部 森脇和子、中部 山田美代子、西部 和田喜久男

(2) 活動方針：「つなげよう・広げよう、活動の輪を！」

(3) 行事内容

当初計画した例会 6 回を、Zoom によるオンライン形式にて、予定通り実施した。

オンライン形式での例会 2 年目となったが、会員参加数は若干増加（計 100 名⇒計 102 名）

行事	内容	結果
第 1 回定例会 【Zoom】 5 月 23 日(日) (分科会 20、支部 3、 一般 1 計 24 名)	・演題：「消費生活センター「前年度の 相談傾向」について 講師：東部（御殿場市）森脇和子 氏 中部（島田市）菅ヶ谷香代 氏 西部（浜松市）山岡美須永 氏 ・FreeTalk フリーテーマ	消費生活センターの最近の相談内容の事例を交えた報告（東部・中部・西部）を日々相談窓口で活躍している・いた会員から、事例を含めて活動紹介頂いた。 事例：電子タバコの定期購入、外国人の賃貸借契約、転売ビジネスなど
第 2 回定例会 【Zoom】 7 月 11 日(日) (分科会 20，支部 2 計 22 名)	・演題：「食品表示について」 講師 中部支部食生活研究会 長谷川千鶴 氏 ・FreeTalk 趣味・最近ハマってること	日産協 Web マガジン「あどばいざあ」の「活躍する消費生活アドバイザー」でも紹介される、食生活研究会の活動を含めて、食品表示について詳しく分かりやすく講話頂いた。
第 3 回定例会 【Zoom】 9 月 11 日(日) (分科会 15、支部 2 一般 1 計 18 名)	・演題：「怪しげなメールに惑わされないために」 講師：静岡分科会 和田喜久雄 氏 ・FreeTalk ワイガヤ井戸端会議	講師が受信した PC とスマホの「なりすましメール」585 通から見えてくる心構えの紹介と実際受信したメールを参照したおかしな部分を具体的に紹介頂いた。
第 4 回定例会 【Zoom】 11 月 14 日(日) (分科会 13、支部 2 計 15 名)	・演題：「認知症になる前に考えたい 財産管理」 講師：一般社団法人しんきん成年後 見サポート沼津 殿 ・FreeTalk 失敗、笑ってしまった話	前半は「成年後見制度の概要」「家族信託の活用事例」、後半は「会員からの 14 の事前質問への回答」、「受任した事例」について、豊富な実務経験から事例を交えて分かりやすく解説頂いた。
第 5 回定例会 【Zoom】 1 月 9 日(日) (分科会 17、支部 3 計 20 名)	・演題：「ニセ科学と消費者被害」 講師：山形大学 理学部 准教授 天羽優子 氏 ・FreeTalk 自分の飲み物、食べ物	ニセ科学とは、またニセ科学による商品宣伝の事例や血液サラサラの赤血球の顕微鏡写真のからくり 等について解説頂いたが、消費者被害を、相談員、法律家ではない、科学者のお話は新鮮でした。
役員会 【Zoom】 2 月 19 日(土) (分科会役員 8 名)	・目的：2021 年度総会準備	総会報告内容を決定し、2022 年度の活動方針について議論した。
2021 年度総会 【Zoom】	・2021 年度の活動報告及び 2022 年度の体制・活動方針について、承認を得た。	
第 6 回定例会 【Zoom】 3 月 13 日(日) (分科会 16、支部 1 計 17 名)	・演題：「美味しく楽しい食品ロス 対策」 講師：アイウエシカル代表 食品開発プロデューサー 白瀬まゆ美 氏	食品開発の立場から、食品ロス対策につながる様々な提言をいただきました。 地元静岡産の食材を利用して、従来の利用法と差異を付けて、食品に新たな価値を加え、利用価値を高め、食品ロスを減らす手法であり、新しい食生活の価値が生まれていると感じました。

- (4) 講座講師 派遣 (本部依頼)
 ・期初に依頼が有りました静岡市からの講師派遣2件は、その後の具体的要請無く、中止。
- (5) 本部・中部支部関係 (敬称略)
- ①ICT普及啓発事業 (垂直展開) 「初めてさんのスマホ、初歩の初歩」
 災害発生時に SNS を使えることを想定し、スマホの使い方サポートを行った。
 講師)・静岡分科会 山岡・和田・河合・大石 (Zoom) 計4名
 ・中部支部 稲垣隆信 氏、スマホアドバイザー 花澤麻紀 氏 総計6名
 参加者) 浜松市北区 60代~70代のボランティア団体 (きたっこ) 女性30人
 2時間という設定はあっという間に過ぎ、皆さん楽しく前向きにスマホに触れることができた。
- ②NACS チャンネル (YouTube) への『備えて安心 “もしも” のときのヒント集』投稿
- (6) その他
- ①会員動向 新規加入:2名、退会:2名 ⇒ 4月時点の在籍者数 42名
 メーリングリスト登録者36名 (86%) <中部支部全体では84%>
- ②静岡分科会例会の企画~運用要領を作成

2021 年度を振り返って

- (1) できたこと ・2年目のコロナ禍において、年6回 (計画) の例会 (講座) の実施 (Zoom形式)
 ・例会講座後にフリートーキング (テーマは幹事決定) を設定し、多くの会員が発言
 ・Zoom形式となった昨年度と比べても、会員参加者数は増加
- (2) できなかったこと ・リアル懇親の場の設定 (合宿例会・新年会)
- (3) 残された課題 ・会員 ICT スキルのボトムアップ

2022 年度活動計画

- (1) 活動組織:分科会代表 河合康成、副代表 山岡美須永、会計 山下裕夫
 地区役員:東部 森脇和子、中部 山田美代子、西部 和田喜久男
- (2) 活動方針:「つなげよう・広げよう、交流の輪を!」(継続)
 2022 年度重点取組テーマ:楽しく学ぼう! ICT リテラシー
 分科会活動形態を広げ、コロナ禍においても、活動の活性化及び会員交流の推進に取り組みます。
 ・Zoom の活用による活動形態の多様化を図る (リアルとの併用を含む) (継続)
 ・奇数月に例会を開催し、会員多数の関心事にヒットする例会テーマの選定にトライ (継続)
 ・本部・支部取り組み事業への参加 (継続)
 ・会員への ICT リテラシー向上に資する情報・機会提供
- (3) 本部・中部支部 関係
- ・代議員 (2023 年 12 月改選、任期 2 年):山岡美須永・河合康成
 ・標準化推進リーダー:河合康成
 ・ICT リーダー:山岡美須永・和田喜久男・河合康成
 ・ICT テクニカルサポーター:和田喜久男
- (4) 行政 関係
- | | |
|---|-------|
| ・静岡県消費生活審議会委員 (令和 3 年 9 月 1 日~、任期 2 年) | 山岡美須永 |
| ・静岡市消費者教育推進地域協議会委員 (令和 3 年 7 月 1 日~、任期 2 年) | 山下裕夫 |
| ・御殿場市消費者教育推進協議会委員 (令和 4 年 4 月 1 日~、任期 2 年) | 勝又長生 |
| ・静岡県入札監視委員会委員 (令和 3 年 12 月 16 日~、任期 2 年) | 池谷てる代 |

以上

2021 年度活動報告

- (1) 活動組織：代表 陰地康行、副代表 田中睦、会計 前田芳子
 (2) 活動方針：会員の関心があるテーマを取り上げ、知識向上につなげるとともに地元三重について知り、楽しく参加しやすい分科会活動を目指す。
 (3) 行事内容

行事	開催日・場所	内容	結果
第1回定例会	3月10日 (土) 11時～12時	Zoomにて会議 20年度の反省、21年度の計画について	コロナの影響でZoomにて開催 参加者：10名
第2回定例会	5月15日(土) 10:00～12:00 アスト津 5階 研修室C	「金融商品の勉強会」 講師：藤端弘様 ライフプラン実践フォーラム代表 FP1級	参加者：13名 ・各種の金融商品の内容とその注意点 ・今後の経済動向について講義いただく
第3回定例会	7月17日(土) 10:00～12:00 アスト津5階研修室C	自主勉強会。講師 稲垣会員 テーマ「食品の安心・安全 ・アドバイザーの心得」	参加者：13名 分科会内で講師を務めて勉強会を実施
第4回定例会	9月18日(土) 10:00～12:00 四日市博物館	・地元を知ろうツアー 「四日市公害訴訟展」の見学と「プラネタリウム」観賞	緊急事態宣言により中止
第5回定例会	1月15日(土) 10:00～12:00 アスト津5階研修室C	・三重分科会定例会	参加者：12名
		講演「成年後見制度と民事信託」 講師：司法書士 川島真一様	成年後見制度の現状と民事信託制度の活用と今後についての講演
		・新年互礼会	コロナの影響で中止
第6回定例会	3月13日(日) 10:30～12:00 Zoom会議にて実施。	・講演「成人年齢引き下げについての高校生アンケートからの考察」 講師：三重大学 吉本敏子様	三重県下の公立高校2年生2170名成人年齢引き下げに関するアンケートを実施しそのデータを分析した内容から講演頂く。参加者：11名

2021 年度を振り返って

専門知識アップデートとして各回ごとのテーマを決めて勉強会と地元の発見を進めてきましたが、コロナ禍での開催の為、中止や参加者数の減少など上手く行かない事もありました。次年度も同様なテーマに沿って、さらに違った視線からも検討して進めて参ります。

2022 年度活動方針

本年度も会員各位のスキルアップと地元の文化や歴史探究を基本に、会員内での自主勉強会も実施し明るく楽しく活動し全員参加を目指します。

2021 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 山田圭子、副代表 清水美和子、会計 北川住江

(2) 活動方針：メンバーとの出会いを、気づき・生きる力へ、絆として重ねる展開を目指す

(3) 行事内容

行事	開催日・場所	内 容	結 果
第 1 回 定例会	4 月 4 日(日) 10:00～15:00 貞照寺・桜ヒルズ (各務原市)	岐阜を知ろう ～フィールドワーク～ 電力王福沢桃介と貞奴・川 上音二郎の足跡を訪ねて	参加者 8 名 小雨の降る中、貞奴の菩提寺である貞照 寺に伺い、おとぎ話と実際を見てきまし た。桜ヒルズでは昼食と景色を楽しみまし た。
第 2 回 定例会	5 月 30 日(日)	終活に関する学習	コロナ禍による緊急事態宣言のため中止
第 3 回 定例会	8 月 15 日(日) 9:00～9:40 8 月 22 日(日) 8:00～8:40	Web 会議を体験しよう ～通信テストを兼ねて～	参加者 各 5 名 初めての Zoom 会議にどうすれば参加で きるのか、ともかくやってみようとテスト 会を開催、新メンバーも 2 名参加。
第 4 回 定例会	9 月 5 日(日) 10:00～12:00 Zoom 会議	2021 年度の活動計画 課題・実施方法の討議	参加者 7 名 8 月に行った通信テストを経て、それぞ れの自宅から参加。コロナ禍でできるこ とをそれぞれが提案。
第 5 回 定例会	10 月 6 日(水) 13:00～16:00 メディアコスモスみんな のホール他 オンライン中継	想いつなげる講座 in ぎふ 終活&相続手続きのススメ	参加者 6 名 法務局主催の講座に参加。 身近な法務手続きや法律改正点などにつ いて学んだ。
第 6 回 定例会	11 月 3 日(水) 10:00～16:00 マーサ 21	岐阜市消費生活展 契約に関するクイズラリー	参加者 2 名 例年通りのパネル展示であったが、設問 を変更して、現行の問題を提示した。
第 7 回 定例会	11 月 7 日(日) 10:00～12:00 Zoom 会議	次回講座開催の計画 講師選定方法や会場につ いて意見交換	参加者 7 名 9 月からの 2 か月間のそれぞれの学びを 報告し、次回準備を話し合った。
第 8 回 定例会	1 月 16 日(日) 10:00～12:00 ハートフルスクエア G 研修室	生前整理をはじめよう 過去をみつめて、未来をプ ランニング 講師：水野久美子氏	参加者 14 名 久しぶりの集合講座で、みんなに会えて 嬉しかった。多くの気づきを得られ、こ れからを前向きに生きるヒントとして活か していきたい。
第 9 回 定例会	3 月 6 日(日) 10:00～15:00 ハートフルスクエア G 小研修室	2021 年度の振り返りと 2022 年度の計画	参加者 8 名 新メンバー 1 名参加 コロナ禍の 1 年であったが、Web 会議を 開催するなど新たな挑戦もできた年であ った。来年度も有意義な活動を進めてい きたい。

2021 年度を振り返って

新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言により身動きができないスタートであったが、Web 会議に挑戦するなど新しい活動の体験もできた。年度の終わりには、中部支部メンバーに参加を呼びかけ久しぶりの対面セミナーを開催し、触れ合う醍醐味を感じることもできた。新メンバーの参加を得ることもでき、活動制限のある一年ではあったが、多くの気づきと発見を得た年でもあった。

2022 年度活動方針

ここ数年取り組んでいる「岐阜を知ろう」のテーマをさらに深め、新しいことにも挑戦する。新メンバーを迎え、それぞれの持ち味をさらに発揮していく幅広い活動をしたい。

昨年始めた生前整理をはじめとする人生を振り返りつつ、未来を拓く活動を深化させ、web 会議や感染対策を講じた上での対面活動をうまく組み合わせ、メンバーの資質向上と絆を強固にしていきたい。

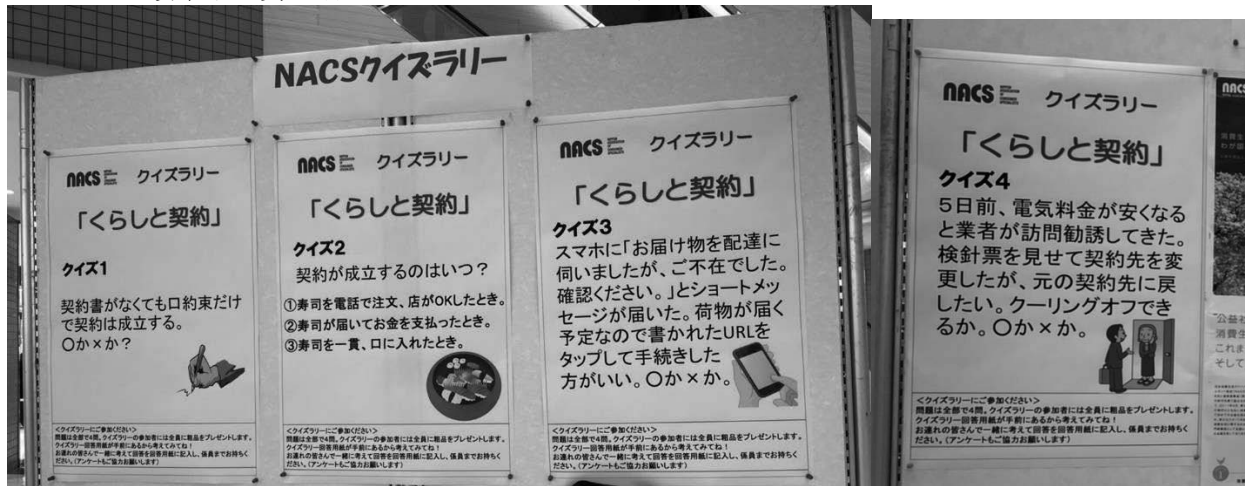


2021. 4. 4

小雨降る中

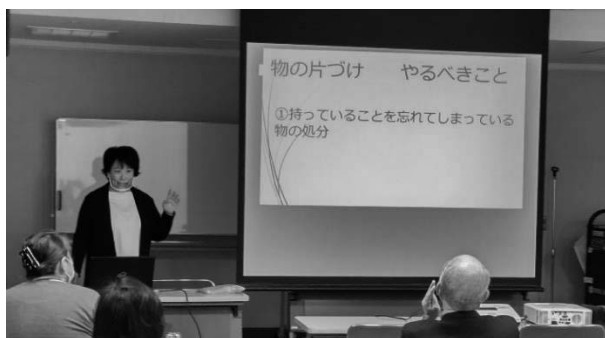
桜満開の貞照寺

岐阜市消費生活展 クイズラリーのパネル < 2021. 11. 3 マーサ 21 >



生前整理をはじめよう 講座風景

<2022. 1. 16 ハートフルスクエア G 研修室>



2021 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 橘宏和、副代表 片谷千恵子、会計 橘宏和

(2) 活動方針：

- ・消費者問題等に関する勉強会等を開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広げる。
- ・会員の興味に沿ったテーマを Zoom を活用して開催し、北陸分科会会員相互の交流を深める。

(3) 行事内容

第 1 回 定例会	6 月 5 日(土) 13:00~15:00 Zoom による オンライン会議 参加者 8 名	北陸分科会会員による「ゆる～い終活の話」についての勉強会	講師の会員は行政書士というお立場でもあり「終活について」の説明を、ご本人によるプライベートな話も交えながら進行し質疑応答にも時間を割いていただき有意義な勉強会となった。
第 2 回 定例会	9 月 11 日(土) 10:00~12:00 Zoom による オンライン会議 参加者 9 名	(一社) 日本損害保険協会北陸支部さまによる「自然災害への備えのための損害保険の機能と役割」についての勉強会	講師からは「日頃からハザードマップ等で自ら情報を収集し、自分の身は自分で守る」「消費者としても基礎知識を持ちリスク回避に努めなければならない」等の講話があった。
第 3 回 定例会	12 月 4 日(土) 10:00~12:00 Zoom による オンライン会議 参加者 7 名	北陸分科会会員による「食の安全・安心～食中毒と食品表示について～」の勉強会	講師の会員からは「普段キッチンで使用しているスポンジや手拭きタオルにはトイレよりも多い菌が付着している」等、身近な話題を基に食品表示や成分表示について説明があった。
第 4 回 定例会	3 月 5 日(土) 10:00~12:00 Zoom による オンライン会議 参加者 9 名	・2022 年度北陸分科会運営方針 及び分科会人事について協議 ・2022 年度活動計画の策定	2022 年度の分科会活動方針、及び分科会人事について協議するとともに、今回初の試みとして会員が撮影した地元の風景写真等を基に近況報告を行っていただいた。

2021 年度を振り返って

これまで北陸分科会では会員相互の交流と親睦を深めるため、座学だけではなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸 3 県の良さを再認識する活動を中心に取り組んで参りました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により 2020 年度に引き続き 2021 年度も会員が一同に会して活動することが出来ませんでした。

そのような状況下でしたが、Zoom により年 4 回の定例会を開催いたしました。

2022 年度活動方針

新型コロナウイルスの状況にも拠りますが、2021 年度に引き続き会員の興味に沿ったテーマによる勉強会を Zoom を活用しながら活動して参ります。

講義テーマは消費生活アドバイザーとしての知見を広げるとともに「参加して良かった」と思っただけの内容とし、多くの会員に参加していただけるよう計画して参ります。

<活動目的>

消費者問題等に関する勉強会をオンラインで開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広げる。

<活動組織>

代表	橘宏和 (石川)	福井県代表	片谷千恵子
副代表	片谷千恵子 (福井)	石川県代表	北川智重子
会計	橘宏和 (石川)	富山県代表	川合芳明
代議員	橘宏和 (石川) 任期：2 年		

<定例会テーマおよび日程、内容について>

テーマ：Zoom を活用し、会員の興味に沿ったテーマを勉強会形式で実施する。

※第 1 回定例会：6 月上旬を目途に実施予定 (テーマは計画中)

4. 各研究会より

研究会 ACT 2021-2022
2021 年度代表 田窪 ゆかり
2022 年度代表 花井 泰子

2021 年度活動報告

(1) 会員数 : 6 名

(2) 活動方針: 暮らしに関わるさまざまな問題に対し調査・研究・提言することを目的として活動

(3) 行事内容

行 事	開催日・場所	内 容	参加
4 月度定例会	4 月 20 日 (火) 20:00~22:00 各自自宅	Skype によるオンラインミーティング ・「ACT de GO」について ・支部大会資料の確認	6 名
5 月度定例会	5 月 18 日 (火) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・Zoom の使い方	6 名
6 月度定例会	6 月 15 日 (火) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・Zoom の使い方 ・「ACT de GO」実施計画	6 名
7 月度定例会	7 月 20 日 (火) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・フリートーク	6 名
8 月度定例会	8 月 26 日 (木) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・自由発表	6 名
9 月度定例会	9 月 21 日 (火) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・自由発表	6 名
10 月度定例会	10 月 14 日 (木) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・サロン笑話会における 「ACT de GO」の実施計画	6 名
10 月度 臨時定例会	10 月 27 日 (水) 14:00~16:00 伏見ライフプラザ 11F サロン	・サロン笑話会における 「ACT de GO」のリハーサル	6 名
11 月度定例会	11 月 11 日 (木) 13:00~14:00 名古屋市瑞穂区サロン笑話会	・サロン笑話会において 「ACT de GO」実施	5 名
12 月度定例会	12 月 14 日 (火) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・今後の活動について ・5 分間スピーチ	5 名
1 月度定例会	1 月 19 日 (水) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・次期代表・会計の選出 ・今後の活動について	5 名
3 月度定例会	3 月 2 日 (水) 20:00~22:00 各自自宅	Zoom によるオンラインミーティング ・C+春号 原稿作成 ・来年度の活動予定	5 名

(4) トピックス

コロナ禍により自粛中であった高齢者サロンへの出前活動「お役立ち隊 ACT de GO」を 2 年振りに実施することができました。Zoom を利用したオンライン定例会にも慣れ、「メンバーのもう一つの顔を知ろう」では各人のバラエティに富んだ個性あふれるプレゼンを楽しみました。

2022 年度活動方針

ACT のメイン活動としてきた高齢者サロンへの出前活動「お役立ち隊 ACT de GO」は、2022 年度も引き続き、レベルアップを目指し進めていきます。コロナの感染拡大による影響もあると思われまますので、2 か月に一度の定例会とし、お楽しみの行事も入れながら、「楽しく、活動的に」をモットーに、身近なテーマに取り組んだり、興味のあるお話を伺ったりする予定です。

2021 年度活動報告

(1) 会員数 : 16 名

(2) 活動方針：消費者の身近な話題や疑問からテーマを選定し、顧客満足の視点から企業、行政、消費者それぞれの問題点の抽出、対策の提案をおこなってゆく。

ここ数年は、名古屋市消費生活フェアにて、旬の話題を研究しブース展示を通して成果を展示する活動を進めています。また、年に 1 回、消費生活に関係する書籍を、会員内で選択し読書後、意見交換をしています。

(3) 行事内容：基本は、定例会を毎月第三土曜日午後開催、2021 年度はオンライン開催 (Zoom)

開催日	テーマと概要	参加者
4 月 17 日 (土)	・名古屋市消費生活フェア開催概要の共有と活動内容の検討。 ・地球温暖化に対して 1.5℃ライフスタイル受講者からの情報共有。	13 名
5 月 15 日 (土)	・本読み感想の共有。・本年の名古屋市消費生活フェアについて ・本年度取り組み内容「温暖化対策 (CO ₂ 削減)」関連の話題共有。	13 名
6 月 19 日 (土)	・「名古屋市消費生活フェア 2021」開催概要説明、質疑応答。 ・「温暖化対策 (CO ₂ 削減)」についての展示内容概要検討。	14 名
7 月 17 日 (土)	・「名古屋市消費生活フェア」での展示方法、上映動画内容の検討。 ・NACS 東北支部の食品ロス削減の動画を上映することに決定。 ・「温暖化対策 (CO ₂ 削減)」についての展示内容概要検討。	14 名
8 月 28 日 (土)	・「名古屋市消費生活フェア」での展示、パンフレット内容の検討。 ・自分で出来る CO ₂ 削減チェックパンフレット内容の検討。	13 名
9 月 18 日 (土)	・「名古屋市消費生活フェア」での展示、パンフレット内容の検討。 ・CO ₂ 削減につながる電力選択や海外動向紹介内容を検討。	12 名
10 月 23 日 (土)	・名古屋市消費生活センターとオンラインのハイブリッド開催 ・「名古屋市消費生活フェア」での展示、パンフレット内容の検討。 ・展示物の最終チェック、フェア当日の時間割、説明内容の確認。	13 名
11 月 13 日 (土)	・名古屋市消費生活フェアにブース出展し、開催中の運営実施。 ・「私たちのエシカル行動で気候崩壊を止めよう」をテーマに展示。 ・時間割を決めて参加者集結による密を避けて実施。	12 名
12 月 18 日 (土)	・アイリス愛知とオンラインのハイブリッド開催 ・「名古屋市消費生活フェア」の振り返り。・次回本読み候補の検討	11 名
2 月 5 日 (土)	・本読みの本を「暮らしのなかのニセ科学」に決定。 ・会員相互の近況報告。	12 名
3 月 19 日 (土)	・次年度の代表選出、会の運営方法について決定。 ・22 年度活動内容についてテーマ検討。	12 名

(4) トピックス

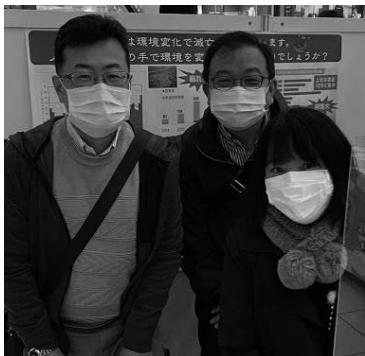
年間の取り組みテーマを、読書会で読んだ「地球に住めなくなる日」で危機感を共有した“地球温暖化の進行と CO₂ 削減による対策”について、研究し、消費者のみならずみなさまへ注意喚起できるように進めました。オンライン開催も 2 年目となり、皆様ずいぶん慣れてきましたが、今年度は 2 回ハイブリッド開催も出来、やはりリアルで集まるのは良いなあ実感しました。名古屋市消費生活フェアもコロナ流行の隙を突いて説明員を配置した対面形式で実施できました。一般消費者の方を始め他の消費者団体の方々とも久しぶりにお会いすることが出来て、盛り上がったフェアになったと感じています。次ページに活動の様子を掲載します。

2022 年度活動方針

2022 年度は、名古屋市消費生活フェアの会場が栄のオアシス 21 に戻ることが決まり、更に盛り上がるフェアにするべく、本年度の取り組みテーマを検討中です。

さあ、あなたも、一歩踏み出して、私たちと一緒に活動してみませんか？
あなたのご参加をお待ちしています。

名古屋市消費生活フェア☆2021 対面説明会の様子と展示内容



CO₂削減チェックリスト

カーボンニュートラルライフへ向けて生活を見直してみよう。
僕は、私は、何kg削減できるか？
Let's try it!
出典：資源エネルギー庁ウェブサイト
(無理のない省エネ節約)
※厳密な使用条件や効果量は出典元のウェブサイト確認ください。

生活の場面	項目	一ヶ月のCO ₂ 削減量 (kg)
夏の冷房は28℃設定にする(エアコンの場合)	エアコン	14.8
	扇風機	25.9
冬の暖房は20℃設定にする(ガスファンヒーターの場合)	ガスファンヒーター	18.2
	石油ファンヒーター	25.4

異常気象から身を守ろう!

地球温暖化により、大雨の頻度が高まっています。
一方でスマホの普及や気象レーダ、河川情報のインターネット化で気象状況の確認が身近になってきました。情報を上手に使うことで、身を守りましょう。

①危険な雨量
1時間に50ミリ24時間トータルで200ミリを超える雨が降った場合、土砂災害の危険が高まります。

※雨量の測り方
1.かんづめのあきかんや茶づつなど、上と下の直径が同じ入れ物を用意します。
2.入れ物を平らな場所に置きます。
このとき、雨をさえぎる木や、雨

②気象庁のデータを活用

②-1: 気象レーダ

ここを押すと現在地付近が拡大されます。

ここを押してキキクルを選択すると土砂災害の危険情報が判ります。

この○を移動することで警の流れが長られます。

2021 年度活動報告

(1) 会員数 : 11 名

(2) 活動方針：身近な食生活の話題を取り上げ学習し、情報を発信、提言することを活動目的にしている。健康で楽しく豊かな食生活の為に、勉強会や講座等を開催している。

(3) 行事内容

行事	開催日・場所	内容	参加
定例会①	4月17日(土) 10:00~12:30 伏見 LP 活動ルーム	みりん冊子の打合せ	9名
定例会②	6月24日(木) 20:00~21:30 オンライン	みりん冊子の展開、地域の伝統食品について	10名
定例会③	8月31日(火) 20:00~21:30 オンライン	みりん冊子の展開、地域の伝統食品について	10名
定例会④	10月26日(火) 20:00~21:30 オンライン	みりん冊子の展開、地域の伝統食品について	9名
見学会	12月1日(水) 10:30~15:00 岡崎市	八丁味噌メーカー見学会	8名
定例会⑤	12月11日(土) 10:00~12:00 伏見 LP	みりん冊子の展開、地域の伝統食品について	5名
見学会	1月24日(月) 10:30~15:00 西尾市	西尾 抹茶体験、みそメーカー見学(まん延防止措置のため延期)	—
定例会⑥	2月17日(木) 20:00~21:30 オンライン	みりん冊子の展開、地域の伝統食品について	7名

(4) トピックス

昨年度完成したみりんのパンフレットをより多くの方々に知っていただけるよう各方面に展開しました。また、みりに続く新しい研究テーマについても検討しています。

2022 年度活動方針

2022 年度は、引き続きみりんのパンフレットを広く展開します。新たに、地域の伝統食品をテーマに調査・研究を進める予定です。

Ⅱ. 2021年度予算執行状況

1. 収入の部

収入は昨年度に比べて約9万円の減額となりました。

科目	収入見込み	前年度予算	差異	備考
会員基本割(277名)	1,184,175	1,201,275	△17,100	会員減4名
賛助会員還元(4社)	240,000	240,000	0	増減なし
特別収入	30,000	105,310	△75,310	会場キャンセル払い戻し金 日産協協力金
収入合計	1,454,175	1,546,585	△92,410	

※他に本部事業として「学校教育・一般講師派遣」「ICT普及啓発事業」等を実施しましたが、本部管理のため記載からは除きました。

2. 支出の部

昨年に続くコロナ禍の中で、対面によるイベントや交流会の自粛等により約48万円を残す結果となりました。

予算区分	事業	予算:a	実績:b	差異 :a-b
支部共通	情報誌発行	63,000	81,717	※1 -18,717
	支部大会(報告資料印刷・郵送)	90,000	95,982	※2 -5,982
	支部郵便受付代行費	20,000	20,000	0
分科会活動助成	静岡分科会	198,000	124,250	73,750
	三重分科会	130,940	13,146	117,794
	岐阜分科会	85,000	54,815	30,185
	北陸分科会	108,000	20,693	87,307
	予備予算	3,000	0	3,000
	支部事業	会員勧誘	30,000	0
	自主研究会助成(3研究会)	60,000	54,720	5,280
	研修会	150,000	147,068	2,932
	支部大会(講演講師謝金)	50,000	10,275	39,725
	懇話会	3,000	1,980	1,020
	事業委員会	120,000	39,935	80,065
	総務委員会	343,235	310,137	33,098
	支部合計	1,454,175	974,718	479,457

※1) 郵送用封筒(13,200円)、メール配信移行の連絡ビラ(2,450円)等の作成により予算を超過

※2) 支部大会の会場開催中止(オンライン開催)に伴う郵送作業の運営委員交通費支出。

Ⅲ. 2022 年度運営方針、予算

1. 運営方針

2020 年初めから続く新型コロナ感染で、日常生活での三密を避ける、会食の機会を減らすといった生活スタイル”ウイズコロナ”が当たり前になりつつあります。NACS においてもオンラインの利用が進んだことで研修や講演会などの頻度が增大する中で、情報をよりタイムリーに提供するためにメーリングリストへの登録を会員の皆さまにお願いしてまいりました。

今年度は以下を重点として取組み、支部活動の活性化と運営効率化を進めていきます。

(1) 会員減への対応

- ・日産協共催の資格者交流会等を活用した有資格者の入会促進

(2) 会員向け情報発信の充実

- ・メーリングリストやホームページ、本部新会員管理システム(マイページ)など発信手段毎の利点を活かした配信内容のすみ分けを図る

(3) 自治体等からの講師派遣依頼の対応充実

- ・講座テーマが多岐に渡る等で講師派遣ができないケースを無くすため、依頼テーマに応じた教材開発と講師育成の仕組みを検討する

2. 予算

収入は会員減により昨年度に比べ約 3.4 万円の減額となりました。また、資料作成時点で支部単独の受託事業の予定はありません。

〈収入〉 会員数は 2 月末時点

科目	収入	前年度	差異	備考
会員基本割(269 名)	1,149,975	1,184,175	△34,200	会員減 8 名
賛助会員還元(4 社)	240,000	240,000	0	増減なし
特別収入	※ 30,000	30,000	0	日産協協力金増減なし
収入合計	1,419,975	1,454,175	△34,200	

※日本産業協会「活躍するアドバイザー」へ食生活研究会から投稿

〈事業別内訳〉

方針の実現のため 5 つの新規事業に予算を配分しました。

区分	事業名	予算配分	備考
支部共通	情報誌執筆等	60,000	(新規)情報誌の更なる充実のため
	支部大会(年度活動報告)	70,000	前年実績(印刷、郵送費分)
	支部郵便代行	20,000	前年実績並み(産能大名古屋)
分科会 活動助成 ※	静岡分科会	185,000	会員44→40名:184,382
	三重分科会	120,000	会員29→26名:119,848
	岐阜分科会	92,000	会員19→20名:92,191
	北陸分科会	106,000	会員23名:106,020
	予備	8,975	他県在住会員2名分他:分科会との通信費に利用
支部事業 (愛知県)		728,000	会員161→158名:728,312
	3研究会	90,000	20,000/研究会、食生活研究会+30,000円
	広報委員会	30,000	(新規)ホームページ機能の充実のため
	研修委員会	150,000	前年実績並み
	講師養成	30,000	(新規)講師派遣要請に対応するため
	事業委員会	90,000	
	2次試験相談会	25,000	前年実績並み
	名古屋市フェア	35,000	前年実績並み
	資格者交流会(9月)	30,000	(新規)資格者への入会促進ため
	会員活動委員会	30,000	(新規)会員活動の更なる活性化のため
	合格祝賀会 交流会(3月)	30,000	
	支部大会(講演会費)	100,000	講演会(謝金+交通費)、会議費、会場費は前年度前払い
	総務委員会 (本部付替え)	198,000	運営会議、会計処理等の支部運営関係
		10,000	前年実績並み+端数
支部合計	1,419,975		

※分科会活動助成は特別収入と支部共通を除いた予算額に対し会員数(269 名)から按分。

IV. 賛助会員・支部会員数

1. 支部関係賛助会員（五十音順）

愛三西尾法律事務所 株式会社アイシン 中部電力ミライズ株式会社
東邦ガス株式会社

2. 支部正会員 273名（2022年4月11日現在）

愛知県 159名、三重県 26名、岐阜県 22名、静岡県 42名、福井県 10名、
石川県 6名、富山県 6名、奈良県 1名、岡山県 1名

V. 2022年度運営体制 敬称略

◇運営委員（◎は委員長）

支部長	星野 不二雄
副支部長	北川 住江
会員活動委員会	◎山中 みゆき・長澤 公子・香田 和宏
広報委員会	◎中島 佳子・稲垣 隆信
研修委員会	◎日向 淑子・伊藤 昌伸・恒川 日出美 学校教育担当 北川 住江
事業委員会	◎西田 敏明・山田 勲・河合 成信・皿井 進
総務委員会	◎瀬古 昇一・大塚 秀樹・上田 之道（兼 会計担当）

◇分科会代表・副代表

静岡分科会	河合 康成	（副）	山岡 美須永
三重分科会	陰地 康行	（副）	田中 睦
岐阜分科会	山田 圭子	（副）	清水 美和子
北陸分科会	橘 宏和	（副）	片谷 千恵子

◇研究会代表

研究会 ACT	花井 泰子
AD・CS 研究会	稲垣 隆信
食生活研究会	平田 裕子

◇代議員 10名（五十音順）

稲垣 良利・陰地 康行・河合 康成・北川 住江・清水 美和子
瀬古 昇一・橘 宏和・星野 不二雄・山岡 美須永・山田 圭子

この報告書に関するお問い合わせ、ご意見等は、中部支部総務委員会まで。

Eメール soumu@chuubu.nacs.or.jp



<http://chuubu.nacs.or.jp/>